

鳥取市

1 鳥取市における孤独・孤立対策について

■ これまでの取組、課題、あるべき姿

- 平成30年度に初めて地域福祉推進計画を作成。まず包括的支援体制の整備に取り掛かり、その後、重層的支援体制整備事業（令和3年度試行、令和4年度実施）に移行。アウトリーチ等を通じた継続的支援を実施中
- 令和4年度に鳥取市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを構築
- 対策を展開するにあたり、生活圏の中核である鳥取市とその周辺市町との連携が不可欠であり、広域展開の必要性を感じていた

2 広域連携孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの形成

■ プラットフォームの形成

- 令和4年度に構築した鳥取市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを「麒麟のまち連携中枢都市圏」である鳥取市周辺4町（智頭町、八頭町、若桜町、岩美町）、兵庫県2町（新温泉町、香美町）へ広域展開

■ 参加団体の選出方法、参加打診の工夫等

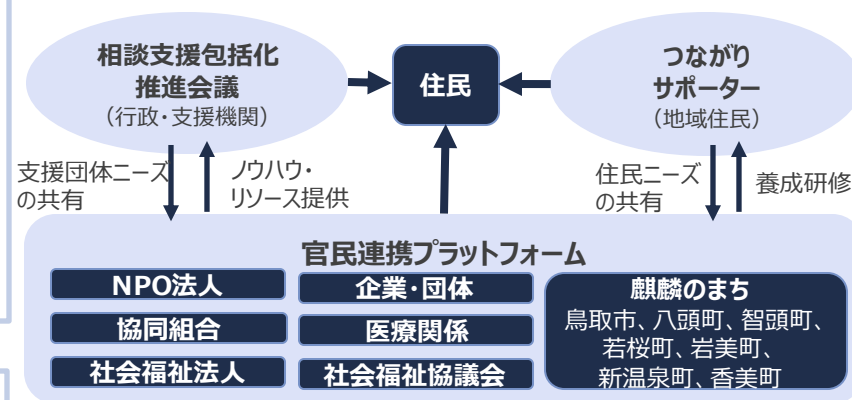
※既に麒麟のまち圏域で連携して実施している地域食堂事業を基盤に、広域連携PFは市町担当者との協議で進められている

- 7/10 政策推進会議（鳥取市幹部会）、7/10～20 各町担当課への説明を実施し賛同を得る
- 7/21 鳥取市長定例会見を実施し、公に連携PFの推進を表明
- 10/30 改めて各町担当者会議を実施し、企画について意見交換
- 11/2 創生戦略会議（首長会議@兵庫県香美町）において、広域連携PF事業の推進を決定

■ 官民連携PFが果たす役割

- 情報やリソースの共有**：住民のお困りごと・ニーズの団体間での共有、各団体の強み・リソースの共有。**相談支援包括化推進会議**で孤独・孤立の困難事例について検討
- 人材育成**：**つながりサポーター養成研修**の広域実施
- 市民への周知**：市民参加型ワークショップ「**つながりミーティング**」を鳥取大学と連携して開催、シンポジウムの開催

■ 官民連携プラットフォーム組織図イメージ



とっとりコネクト
<https://tottori-iju.jp/kirin-no-machi/>

■つながりサポーター養成研修（※最も重視した取組）

- 支援を要する方と支援団体をつなぐ市民ボランティアを養成
- 令和4年12月に第1回を開催し、今年度はPF構成団体への出前研修や麒麟のまち圏域で11回実施
- 登録者は昨年度の41名から252名（令和6年3月12日時点）へと増加**（うち、麒麟のまち圏域に36名）

日程	場所・対象	参加者数
8/22（火）	鳥取市民集会	84
10/31（火）	鳥取医療生協※ 組合員	28
12/1（金）	鳥取医療生協 中堅職員	24
12/3（日）	西・中ノ郷ブロック民生児童委員	38
12/9（土）	高草地区	19
12/22（金）	鳥取医療生協 中堅職員	25
1/14（日）	富桑地区福祉関係者会議	34
1/17（水）	鳥取市役所駅南庁舎	39
2/28（水）	兵庫県新温泉町	11
2/29（木）	智頭町	29
3/8（金）	八頭町	17
	計	348

※鳥取医療生協は鳥取市と若桜町でサービス実施

【プログラム】

- 研修内容
 - 講演「孤独・孤立対策事業の背景／麒麟のまちの孤独・孤立対策／伴走型支援」（60～90分）
 - グループワーク「身近にある多様な孤立ケース」（60～90分）
- テキスト
 - 「伴走型支援 新しい支援と社会のカタチ」奥田知志・原田正樹編集
- 修了認定
 - 研修修了者へ終了証とバッジの交付
- 修了者の登録
 - 連絡先及びLINE登録により随時、情報提供



研修風景 @医療生協 R5/10/31



つながりサポーター
認定バッジ

■市民参加型ワークショップ「つながりミーティング」

- 令和5年10月～11月、鳥取大学学生とともに市民向けワークショップを開催
- 概ね中学校区を範囲として想定し、地域の住民やつながりサポーター、身近な相談機関の支援員等の顔の見える関係づくりが目的
- 292名（うち学生述べ70名）が参加

日程	会場	参加者数 (うち学生数)
10/18 (水)	鳥取市人権交流プラザ	27 (6)
10/22 (日)	佐治人権福祉センター	19 (1)
10/26 (木)	西人権福祉センター	31 (5)
11/2 (木)	国府人権福祉センター	30 (11)
11/9 (木)	江山人権福祉センター	25 (6)
11/15 (水)	南人権福祉センター	26 (4)
11/17 (金)	用瀬町総合支所	24 (5)
11/18 (土)	河原人権福祉センター	27 (5)
11/21 (火)	気高人権福祉センター	33 (8)
11/25 (土)	鳥取市人権交流プラザ	35 (9)
2/23 (金)	鳥取市役所本庁舎 市民交流棟 (総括会)	15 (10)
計		292 (70)

【プログラム】

- 開会
 - 問題提起（孤独・孤立の現状に関する講義20～25分）
 - グループワーク（孤立・孤独のないステキな地域にするには
どんなことが必要ですか？45～60分）
 - 各グループ発表（1グループ3分程度）
 - 閉会
- 約2時間



R5/11/21@気高

■ 住民向けシンポジウム

- 令和6年2月20日、麒麟のまちにおける孤独・孤立対策を紹介するシンポジウムを開催、約170名来場
- 前日には、PF関係者向けの研修も併せて実施



基調講演



パネルディスカッション

- 大西連氏の基調講演の後、鳥取市、智頭町福祉事務所、兵庫県新温泉町社会福祉協議会、つながりサポーターから活動紹介
- パネルディスカッションでは「つながりサポーターに期待すること」「プラットフォームの拡大波及に必要なこと」「麒麟のまちがこれから目指す姿」について意見交換し、つながりサポーターを地域で増やしていこうとのメッセージで終幕

【麒麟のまち孤独・孤立対策 官民連携PF研修会】

○日程：令和6年2月19日（月）

○場所：鳥取市人権交流プラザ

○プログラム：

16：00 講義 大西連氏「孤独・孤立対策
の概要と地域でできること」

17：00 意見交換、交流会

○参加者：プラットフォーム構成団体（鳥取市
中央人権福祉センター、医療生活協同組合、
鳥取市社会福祉協議会、鳥取福祉会ほか）



■ 次年度以降予定している取組

○つながりサポーター養成研修の継続的実施

- ・ 鳥取市内では、各中学校区（N = 17）に20人程度のとつながりサポーター（約350人）が居ることを目標として引き続き研修を開催し、数を増やしていく。さらに麒麟のまち圏域に拡大していく
- ・ 養成研修を充実させるため、本年度の試行事業の中で研修用の動画教材を作成。3/8の八頭町の研修から活用を開始

○「つながりミーティング」の継続的実施

- ・ 各中学校区を目安として、地域住民やつながりサポーター、行政、支援団体との情報交換の場として継続していく
- ・ つながりサポーターが他の地域へ出張して意見交換や活動事例の共有を行うことも、つながりサポーターから提案されている

○事務局機能の一部を参加団体に移行

- ・ NPO法人に委託し、孤独・孤立対策推進員を配置
- ・ 推進員は行政（中央人権福祉センター）に派遣・配置し、共同して運営

その他（本事業で作成した資料抜粋）

①プラットフォーム・つながりサポーター紹介・募集リーフレット



A3判

②つながりサポーター研修用教材動画



45分

③啓発ステッカー



B6判

3 試行的事業の実施状況

事業名称	事業内容	目的・ 期待される効果	実施時期	発注先 (予算配分)
つながりサポーター 養成研修	- 支援の必要な方の見守りを行う市民ボランティアの養成（令和4年12月に開始） - 今年は広域に展開、計11回	- 孤立させない地域社会の創造 - 市民ボランティアの育成	令和5年8月 ～令和6年3月	有斐閣※テキスト代 (1,080,000)
市民参加型ワーク ショップ「つながりミ ーティング」	「孤独・孤立のない地域にするためにはどんなことが必要ですか」をテーマに、参加者同士が小グループに分かれて話しあうワークショップを実施	- 孤独・孤立対策に関する市民の啓発 - 人材育成（学生の参加）	10月～11月	学生50名への謝礼 (150,000) 交通費（56,783）
研修参加費	PF構成団体のメンバーが高齢者免許返納に関する研修会に参加	当該テーマに関する知見の蓄積、PFでの情報共有	12月	株式会社つむぎ (8,000)
つながりサポーター 拡充に向けた広報 業務	- 広報用資料の作成 － ステッカー － 孤独・孤立対策紹介用リーフレット － つながりサポーター認定バッジ － 研修用動画	- つながりサポーター養成制度の拡充・普及 - 孤独・孤立対策の認知度の向上 - PF構成団体の拡充	令和5年12月 ～令和6年2月	
麒麟のまち孤独・孤 立対策官民連携 PF研修	孤独孤立対策における官民連携の意義について講義、ディスカッション	PF構成団体の連携強化	2月19日	m&m.co (5,373,909)
孤独・孤立対策官 民連携PFシンポジ ウム in 麒麟のまち	「麒麟のまち連携中枢都市圏」官民連携プラットフォームによる孤独・孤立対策のシンポジウムを市民向けに開催、対策の周知をはかる	- 市民への周知、啓発 - つながりサポーターの広報	2月20日	講師謝礼・交通費 (95,668)
視察研修費	連携PF構成団体及び市町担当者と北九州市及びNPO法人抱樸（在北九州市）の取組みを視察し意見交換を実施	PFを構築する自治体の横の連携の強化	3月6、7日	旅費 (163,746)
			計	(6,928,106)